

KSKP**Threshold**

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニューズレター Vol.31

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュョルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



LIFE with HOPE 希望ある人生

冬が過ぎて春がまた来る。その繰り返して、同じことばかりで変化のない日々がものすごいスピードで進んでいるような気がしてしまう今日この頃ですが、振り返ってみると、本当に様々なことがありましたし、仲間達も大きく変化していきます。少しずつですが、神戸ダルクも色々な形ができてきているように思います。冬が過ぎれば春。なのですが、これほど春が待ち遠しいと思った年はありませんでした。仲間達とこのコロナの自粛のツケを、ギャザリングや仲間と交流するイベントを計画していこうという気持ちでみんな熱くなっていますが、まだまだ予断は許さない。祈るばかりです。

さて、仲間達がニュースレターを折り込んで封筒詰めをしている中で「ニュースレターは何のために出してるのか」という話になって、古い仲間が「献金をお願いするためだよ」と説明しているのを見て、全く違う感覚の私がいることに気がつきました。確かに、このコロナ禍で、施設の資金が完全に底をつき、融資で成り立っている状態での、寄付やお米の献品は非常にありがたく、感謝を今まで以上に感じています。が、私がニュースレターを作りながら思っている気持ちは「これを楽しみにして、希望にしてくれている刑務所や病院にいる仲間達」への思いを描き、作成している自分がいます。刑務所の中では、外から来る手紙など、何度も何度も読み直し、少しの希望にしています。ニュースレターの感想や、思いを書いてきてくれる刑務所の仲間達の返信を読み、少しの希望を届けられればという思いで仲間の回復を伝えています。神に感謝。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

西宮カウンセリングオフィス

〒651-0068 兵庫県西宮市甲子園七番町 9-18 H2O 甲子園 303

共同生活援助(グループホーム)リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

姫路アディクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

ダルクとのかかわり

カトリック大阪教区 障害者委員会 石井望神父

わたしはカトリック教会の神父です。2019 年、カトリック大阪教区の「障がい者委員会」のメンバーの学習会のために、梅田さんに来ていただき、薬物依存症の概要と、神戸ダルクヴィレッジの取り組みを紹介していただきました。

取り組みの基本的理念の説明のために、その時に見せていただいたビデオがとても理解を助けてくれました。たしか nutshell という英語版の教育啓発プログラムで、「薬物依存症の原因は薬物ではない」といったタイトルでした。読者の皆さんには周知のことかもしれませんが、内容の一部を振り返ってみます。

ドラッグに関するマウスの実験や、ベトナム戦争下での薬物使用米軍兵士の回復の実例などから、従来の常識とは異なり、薬物依存の原因は薬物ではなく人との関係が失われることにあることが明らかだ。人は本来人間関係の中、かかわりあって生きていくもの。かかわりが希薄になったり孤立したり、極度の孤独に陥った時に、他の何かに依存するようになる。孤独を忘れさせてくれる何か、ポルノやゲーム、薬物やギャンブル…等々。逆に依存症からのリハビリのためにはこのような人とのかかわりを回復することが急務であり、地域社会や職場などでも依存症についての理解を深めてリハビリに協力することが重要であることになる。しかし多くの場合は依存症者を犯罪者として孤立させ、出所後も理解が足りない環境に戻ることでさらに孤立化させてしまうことになっている…。

わたしの知人にも薬物依存症の人がいますが、残念ながら家族の理解が進まず適切なサポートが得にくいこと、地域でもカミングアウトすればますます孤立化するに違いない環境があります。ここ数年、テレビでも依存症の理解を助けてくれたり依存症回復のプログラムを紹介する番組もよく見かけるようになりましたが、まだまだ一般的理解は進んでいないようです。理解者や同じしんどさを知る仲間の存在は不可欠です。このような現実の中で NA やダルクの存在は本当に大切だと感じています。



クエチアピンとお姉さんとワンデー

タケ

僕はダルクに入って5年少し経って、過去3回いや4回いや5回スリップしています。今回は、自分の寮でゴミ箱にクエチアピンの空が入っていて、それがバレて発覚しました。本当は仲間から毎日1個ずつもらっていましたが。僕もこれくらいならバレないだろうと思っていました。ついつい、仲間からおねだりしてもらいました。悪いと思っていたけどもやめられません。ダルクでは薬を使うことよりも、仲間に薬を提供することが一番ダメなことと知っていたし、最初のスリップもコンベンションの時に、同じことをしました。依存症が治りません。亡くなったお母さんと約束したのを忘れていました。それで、お姉さんと電話して、もうダルクにいるのが辛いし、気持ちが落ちてダルクを飛び出ると伝えました。それでもお姉さんは固くなにダルクにいさせようとしてしました。お姉さんのいうことはいつも正しいです。キータッグもワンデーをまたもらって、もう僕はクリーンなんてどうでもええと思ってしまっていました。同じ寮の仲間も同じ考えなので安心していましたが、僕はクリーンを保ち続け、又なにかと下手打ってスリップしたら、それこそ皆にも恥ずかしいということを正直に言いました。自信がないのです。本当は僕は神戸ダルクも仲間も好きです。いろいろとお世話してもらっているダルクのスタッフ、代表、自分が回復しているにつれて自分より前に入ってきた仲間を見習って少しずつ回復していきたいです。代表に「今までの人生、どこにいてもいじめられてきたよね？ その相手をお父さんのようにゴッソンしてあげるの簡単だけど、そうしてもらいたいのか、たとえそんなことがあっても自分らしく生きる自分になりたいのか？」と言われた時に、変わりたいと答えました。代表にハグしてもらいました。社会に出ても亡くなったお母さんが僕に望んでいたような生き方ができるように天国のお母さんを安心させるために、施設でいろいろと学ぼうと思っています。時間はかかるけど頑張ります。

ぐっさん スタッフ 下菊 優

先日、神戸ダルクの仲間が旅立ちました。クリーン1年4ヶ月でした。その仲間は、一昨年のお正月前につながる予定でしたが、コロナ禍による影響でつながったのは、年明けでした。僕がぐっさんに会ってすぐに感じた事は、年齢間違ってるとしょって思った事です。僕が聞いていた年齢は72歳、会って感じたのは60代前半もしくは50代後半。それほど若々しい印象の仲間でした。体を動かすプログラムでは本当に年齢を感じさせない人で、畑のプログラムでも黙々と作業してくれたりしていました。



ぐっさんとは、僕の地元にも住んでいた経緯があったりもして勝手に親近感を抱いていました。コロナの影響もあり、鳥取でのプログラムが続く日々も一緒に過ごしていました。その時には僕の娘も一緒参加していて、娘に対しおじいちゃんのように可愛がってくれていました。これまでの経緯を聞いていて抱いていた印象とは違い、本当に優しい表情を見せてくれる人でした。

鳥取へ行っている最中には、あることからコロナにかかってしまい、本当にどうなるかと思った事もありました。複数の人がコロナにかかってしまったのですが、その中でも最初の退院をしてきたのがぐっさんでした。本当に元気な方でした。コロナから戻って来て後遺症も出でらず、プログラムについても、前向きに取り組んでいる姿をみせてくれていました。そんなぐっさんですが、苦手な物がありました。鶏肉です。いつもごはんをの話になると「鶏肉以外にして」とよく言っていました。特にアレルギーではないので、色々試してみましたがちゃんと避けて食べていました。でも一度、鶏団子を使った料理を出した時は気付かずに食べていました笑

そんなぐっさんが体調を崩したのは、3月の中頃でした。朝の検温が高めな日が続いたりしていたのですが、日中に測ると平常の検温、本人に様子を確認し病院へ行くようにしてもらいました。そこで言われたのは脾臓に影がみえるので大きな病院でみてもらって下さいとの事。後日、紹介された病院へ検査の為通院、そのまま入院することになりました。

検査結果は、脾臓ガンの肝転移 stage4 との事でした。代表の梅さんが本人と主治医との面談をし今後の治療方針を話し合っ決めてました。その時に宣告されたのは、治療しなければ1ヶ月、治療したとして8ヶ月との事…本人はその場で治療します。と答えたそうです。本当に前向きな方だと感じました。

それから初めての抗がん剤治療を受け、一度退院。その退院にむけての話し合いの時には、梅さんへ感謝を伝えていたそうです。神戸ダルクにつながっていなければ確実に獄中死だったと思う。そういう意味ではありがとうございます。と…その後一度自分の部屋の寮へ戻る事に、仲間の所に顔をみせにいった時には嬉しそうな顔をしていたのを覚えています。

それから数日、ぐっさんの体力的にも寮で休む事が続いていました。週明け月曜日にも体調が優れないとの事でしたので、様子をみに寮へよりました。その時顔色に違和感を感じたのもありすぐに病院へ連れて行きました。そのまま入院することに。

入院の時ぐっさんは、僕に対して手を顔の前で「すまん！」的な素振をしていました。それが最後の姿になるとは思いませんでした。

入院した次の日の夕方に梅さんの方に連絡がありあまり良くないとの事…もしかしたら今晚といった様子でした。その晩、普段なら気づかずに寝ているのですが、電話のバイブ音にすぐに気づき電話に出ると、梅さんからぐっさんが亡くなったと…一瞬頭が真っ白になりました。

次の日、梅さんとぐっさんを迎えに病院へ行きその後の手続きをしました。急遽のお願いにもかかわらず、以前からお付き合いのある賀川記念館の教会で上内牧師先生に葬儀をしてもらえる事になりました。

4月7日賀川記念館にてぐっさんのお別れ会を神戸ダルク全員でしました。皆でぐっさんを見送りそれぞれ皆の想いを乗せぐっさんは旅立ちました。本当に優しさの満ち溢れた顔をしていました。

僕自身これまでも沢山仲間の旅立ちをみましたが本当に慣れないなあと思う反面、寂しさとは別に僕の最後もぐっさんのような優しい顔で迎えたいと心から思いました。ぐっさんが残してくれたメッセージをしっかり受け止めてこれからも回復に努めたいと思います。



選抜高校野球と賭博

山口 健治

代表から「甲子園 準決勝観に行きますか?」「はい」「甲子園担当ね。前行った時は、野球観ないで、売店のとこでみんな寝てたから、どうする?」そんな代表からの言葉に、自分は、選抜高校野球観戦を担当するんだと、3回目の選抜高校野球観戦にワクワクしました。観ないで寝てたということが、理解できませんでした。そしてこのテーマを頂いた時、かなり困惑してしまいましたが、「選抜高校野球と賭博」→「光と闇」「清と汚」「クリーンとダーク」といったそんなイメージが浮かびました。高校野球は、以前務めていた事業所で、2年前の選抜を観に行く予定だったのですが、コロナの感染拡大で、中止になり、楽しみにしていた利用者さんが、がっかりしていた記憶があります。

私の初めての甲子園観戦は、中学を卒業したばかりの時、当時尼崎に住んでいた叔父のところに行った時、連れて行ってもらいました。「青い珊瑚礁」が行進曲で、早実の大輔フィーバーの年でした。観た試合では、PL 学園の吉村選手のホームラン、大府高校の槇原選手の投球が記憶に残ってます。そして当時漫オブームで梅田花月とポートピア博覧会に連れてってもらいました。2 回目は、10 年前娘と甥っ子をつれていきました。甥っ子が野球やっていて、甲子園への憧れ夢があり、連れて行ってやりました。その後 彼は甲子園を目指して高校野球をしてコロナで中止になった夏の選手権の代替の県大会でベスト 4 まで行きました。甲子園への思いは、自分の母校が出場して応援にいくこと(まだ 1 回も出たことないです)と甥っ子が出てくれることでした(夢を追いかけてくれました)。これからは、母校の甲子園初出場と毎年仲間と選抜を観に行くことが楽しみです。私は、野球はすごく好きで、小学校時代は、校庭で、野球して遊んでいた記憶が鮮明に残っています。街の方には、少年野球チームがあり、羨ましかったです。自分たちは、相撲少年団に入るしかなく野球のユニホームが憧れでした。何故か一度だけ、野球少年団 vs 相撲少年団での交流試合がありボロ負けした記憶があります。だれも「相撲では負けない」って声はあげなかったのも、相撲対決はありませんでした。やってたらどうなったかわかりません。そんなで野球への思いは小学校からずっとあって、街の中学校との統合の時、2 年生になった私は、陸上部から野球部への転部を、陸上部の顧問に志願したんですが、却下され諦めたぐらいの弱いものだった気がします。そんなことを、高校野球が始まるといつも思い起こします。今回の選抜高校野球観戦の段取りは、チケットの手配や、当日の計画は他のスタッフ任せになって、自分はついていだけで、チケットをみんなに配ろうとしたただけでした。

高校野球を観戦して、ダルクの仲間の回復の道を歩んでいる姿を見ると、同じ目的を持った仲間 目指すところは薬物のない新しい生き方を掴むこと。高校球児も仲間と共に、汗を流し、厳しい練習をこなし甲子園を目指し、甲子園では勝利を掴かもうと目的に向かっていている姿勢は、ダルクの仲間も高校球児も一緒だと思います。私も、この選抜観戦で高校球児とそれを応援するアルプス席から闘魂を注入してもらえた気がします。

純白の球を追う高校球児の闘魂とは、裏腹に、高校野球賭博といったダークなことがあるのは事実であり、摘発されたニュースも知りました。勝負事には、勝ち負けがつきものであるから、そこには、かけが発生して、射幸心を煽ります。今回の甲子園観戦時、みんなに球場前で、チケットを配ろうとしたら、係員が飛んできて「ここでは、配らないでください。」と止められました。すかりダブ屋行為に間違われたんです。思えば、広島市民球場に巨人戦を観に行った子どものころダブ屋さんがチケットさばいてた光景を子どもながらに、ヤバいことと思ってました。ただ、どうしてもチケットを手に入れたいファンにとっては、高いチケットでも手に入れたと思う気持ちはわかります。このように射幸心を煽られ需要と供給のバランスで、賭博も成立しています。私も、公営ギャンブル パチンコにのめりこみ、嘘と借金で、大切なものを失いました。今思えば、賭け事にたしでの姿勢が、「勝ちたい」気持ちに支配された結果、のめりこみ依存症になったんだと振り返ることができます。「負けない」気持ち、姿勢でいれば、限度を超えてまで、深追ひしたろうか?しなかったかもしれません。賭博において、胴元は負けないで勝つことが必然です。野球賭博は、違法ですが海外のブックメーカーに、かけることは違法ではなく、罰せられないことを知りました。賭け事は、射幸心を煽り「勝ちたい」という欲求に囚われた自分も含めた人々には、醜く卑しい生き方しかできないと思います。「選抜高校野球と賭博」というテーマをいただいて、改めて自分を振り返ることができました。

最後に、将来 神戸ダルク野球部が発足したら、今所属している草野球チームから移籍したいと思います。



2021 年度神戸ダルク助成事業への感謝 ありがとうございました

「ギャンブル等依存症者へのアウトリーチ活動と自然体験学習を通じた心理的リトリート」事業

これまで3年間 POSC 様には支援をしていただいたおかげで、毎年、目標の活動を進めることができました。2021 年度は、姫路で新しいダルクの拠点活動を始めることができました。家族教室や相談拠点を姫路の各所で行い、それに伴って、姫路中心で仲間達と動くことができるようになり、多くの家族の相談を聞くことができました。それに伴い、姫路からさらに近くなった鳥取でのログハウス活動も本格的に仲間全員で力を合わせて活動することができました。今後につなげていくことができそうで感謝するばかりです。

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構及び兵庫県遊技業協会様



新設グループホーム開設にあたる備品購入

ダルクが新しい場所に移転したことに伴い、グループホームの設置が急がれている最中ですが、やまぶき財団さまのおかげで、家電、エアコンなど必要なものをほとんど揃えることができました。運搬している時に仲間達が「こんなところですめたらいいなあ」と言っていたくらい素敵な備品が揃いました。GH のドアもみんなでペンキを塗りました。

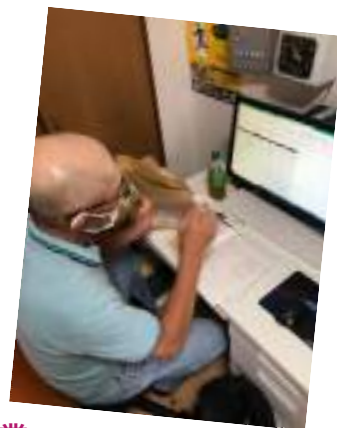
公益財団法人 神戸やまぶき財団様



依存症を持つ触法障がい者の刑務所への文通支援事業

刑務所や拘置所からの手紙が後を絶たない昨今、手紙や面会だけで、とても多くの労力を使っていました。非常に重要な活動ですが、全てボランティアで行っていることから、費用を捻出するのに、様々な方々からの寄付に頼るしかありませんでしたが、キリン財団様のサポートで、ニュースレターや冊子も一緒に送るような対応ができました。これは継続的に行なっていく事業になりました。

公益財団法人 キリン福祉財団様



依存症問題を抱える家族のための家族会開催事業

姫路地区において、家族会を開催してほしいとの声が上がリ、神戸で行なっていた家族教室を、姫路に移動して1年間開催することができました。アットホームに、こじんまりとして依存症を学ぶための会として多くの家族に参加していただきました。今後も場所を変えてですが、この事業を足掛かりに、姫路地区で継続して家族教室が行われます。そのきっかけとなっていたことに感謝いたします。

公益財団法人 大阪コミュニティ財団様

2021 年度助成 山口淑子友愛基金助成事業様



就労のためのパソコン講習事業

私たちが社会復帰をしていくのに、今の社会ではパソコンが多少使えるというのは当たり前になってきましたが、私たちは、なかなかそんなことも恥ずかしくて言えずに、学ぶ機会を持てませんでした。今回、パソコン教室を行ったことで、さまざまな便利な機能があることも学びました。YOUTUBE や天気予報、地図など様々な視野が広がり、これで履歴書を打ち込むのも怖くありません。今年も継続して行う予定です。

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

令和3年度 障害者福祉基金 清水事業助成様



コロナ禍における依存症者の年越し支援事業

毎年助成いただく中で今年も、普通の家庭のような正月を迎えることができました。今年は新しい仲間が中心におせち料理を作り、古い仲間はそれを見守るように祈る日々でした。みんなで温かい衣類をもらったことで温かな正月を迎えることができました。

社会福祉法人 兵庫県共同募金会様 令和3年度 NHK 歳末たすけあい助成様



送迎・移動用車両購入

ガソリン代が急騰する中で、このコロナ禍で電車での移動などができないことから、車での移動は必須でした。そんな中でいただいた助成で、神戸ダルク初の中古ですが、ハイブリッド車を購入することができました。これによって、送迎にかかる費用が半分に減りました。非常に助かりました。なにかもちも大切に乘るために、日曜日は洗車をしてもらっています。

公益財団法人倶進会 2021年度 公益財団法人倶進会 一般助成

エアコンの取り付け

につしん

こんにちは！アディクトのにつしんです。神戸ダルクに新しいグループホームが開設する予定で、ただ今、開設に向けて準備を行なっています。グループホーム開設に向けて仲間達で掃除をしたりペンキを塗ったり、色んな備品を運んだりしていました。作業中に新しく準備しているグループホームのことについて「なんか温かい雰囲気がいいなあ～」、「こんなところで住めたらいいね。」などと妄想話を仲間達としていました。そんな中、順調に開設に向けて準備をしていったのですが、準備が一筋縄では行きませんでした。その準備こそがエアコンの取り付けです。

仲間と一緒に作業していたある日、販売業者から委託された工事業者が見積もりを取りにきていて、見積した紙をもらい早速、代表の梅さんに携帯で写メにとり連絡しました。値段を伝え、手続きを進めていました。エアコンを実際に取り付ける確認をした際に、予想以上の工事費用だったため販売業者との調整をすることに。販売業者との調整がややこしくスタッフに説明をお願いしたりと取り付けまで一苦労でした。

改めて工事業者に再見積もりをしてもらい、いざっ！エアコン取り付け。

業者の手際のいい作業風景を、書類作業しながら自分は眺めていました。

作業が終わり、作業完了の書類にサインしたあと、業者の方から「お支払いの代金は？」の一言。「…」

自分はしばらく固まりました。(あっ自分、代金を持ってない。。。どうしよう。)

もうわけなさそうに業者の方に「明日、料金を会社の方にお支払いにいきます。」と伝え、翌日、料金を預かり業者に支払いに行きました。

やっとのことでエアコンの取り付けの処理も完了しました。ただ昨今の半導体不足でエアコンを動かすブレーカーの注文は7月ごろまで届かないとのことでした。そんなこんなで取り付けられたエアコンや備品が大切に使用されることが早く近づくことを願っています。

また、グループホーム開設にむけての備品の準備として、助成していただいた神戸やまぶき財団様には心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



活動報告

3 月(途中から)

小学館プロダクション会議参加

選抜高校野球大会(甲子園)

つくし取りの会

須磨浦海岸お花見ミーティング開催

4 月

NA ワールドサービスクンファレンス(オンライン)

鳥取ログハウス Youtube 撮影会

神戸ダルクカップゴルフコンペ

王子動物園 桜の通り抜け

ぐっさん告別式

岡山備前ワイナリー見学

福山市民病院訪問

神戸国際医療交流財団親睦会

アジュール舞子 BBQ

西区社会福祉協議会訪問

消防訓練

12 の伝統勉強会参加

播磨社会復帰促進センター打ち合わせ参加

兵庫県社会福祉協議会講演

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日

神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日

姫路無料家族相談 毎月第1火曜日

尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日

垂水病院すまーぷ参加 毎週金曜日

保護観察所すまーぷ 毎月第4金曜日

ヨーガプログラム 毎月1回



近況報告・活動予定

新しい取り組みがスタートしています。これまでできなかった取り組みやワークショップなどを、定期的にみんなで計画しています。仕事量は増えますが、みんなアドレナリンに酔いしれて(笑)、コロナという厳冬期を乗り越えた春のような気分で楽しもうとしています。

次回のニューズレターでは、おそらく新しい取り組みの一部がお伝えできると思います。西宮での活動も動き始めたので、コロナ収束に合わせて様々な NA やダルクでの温めていた楽しい企画を計画しています。

また、私たちにとって悪魔の給付金 10 万円もありますので、今回は再発者が出ないことを祈り、宮古島や、国境が許せばフィリピンなどのフェローシップもできればと考えています。アドレナリンで暑さを乗り切ります！

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」

年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュヨルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年 6 回発行で 2000 円になります。お申し込みは FAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただければ幸いです。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。
個人会員は 1 口 3000 円 (ニューズレター定期購読料を含む) からになります。 刑務所内の方々と文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談

相談の内容に関しての秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは 24 時間 OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

間 明子様 渡辺 幸子様 浜崎 進様 社会医療法人あいざと会藍里病院 吉田 精次様 兵庫県教育委員会事務局 森鼻 崇文様 堤中 裕之様 鳴尾高校 高田 優子様 駒田 和彦様 佐藤 和則様 姫路薬師寮 田中 朋子様
佐藤 喜三子様 生長 拓也様 他匿名希望 1 名

ご献品

びわこ家族会 金川様 金澤 妙子様 山崎 圭様

(令和 4 年 3 月 11 日～令和 4 年 4 月 8 日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。不思議なもので、お米のストックがあると、本当に安心します。生活習慣病を気にしながらも、回復初期は食べて栄養をつけて体力的に回復するところから始まります。コロナ。まだまだ予断は全く許さず、少し行動範囲も広がったものの、自粛生活は続いています。ご家庭で余っている食料品（米、野菜、乾物、味噌、醤油など）から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。年末年始は刑務所から出てきた仲間たちが一般家庭のように暖かく正月を迎えることを目指します。回復の中で、普通の家庭の様に安心して家族でご飯が食べられる様な環境はもっとも回復支援に役に立ちます。外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

春です。病気も仕事も忙しくなります。この2年間やれなかったことが、やれる時がようやく来そうな気がします。が、ここで焦ってしまうのではなく、いつも通り「あせらずやろう」という言葉を思い出すようにしています。焦りすぎること、人の気持ちも考えられずに自分の主張ばかりしてきた自分自身について皆で分かち合う時は恥ずかしいものですが、その時は全く見えていないのが恐ろしいということを知ると同時に、そんな仲間に対して赦しの気持ちを持つ自分たちがいます。神戸ダルクの快進撃。ゆっくり楽しみます。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.31

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規

印刷 プリントバック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部 100円 年会費 3000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階